

◆ 今週のコメント

- ・ 新型インフルエンザA(H1N1)の報告が、6月21日、22日に1例ずつあり、本市での累積報告数は5例となっています。共に男性で、年齢は、45歳及び46歳、フィリピンへ同行しており、帰国後発熱し、感染が確認されました。
- ・ 風しんは、本年初めての報告です。過去5年(平成16年～平成20年)の推移は、定点(市内41医療機関)からの報告であった平成16年は99例、平成17年から平成19年までは10～14例(年報告数)で、平成20年(1月1日に全医療機関からの報告に変更)は1例です。
- ・ 腸管出血性大腸菌感染症の報告が4例あり、第16週(4月の第2週)以降、ほとんどの週で報告があります。

◆ 今週のトピックス: <後天性免疫不全症候群>

平成21年1月から3月までに、新たなエイズ患者1例、HIV感染者2名の報告があります。詳細をトピックスに掲載しています。

◆ 発生状況

全数報告の感染症

- ・ 新型インフルエンザ等感染症: 新型インフルエンザA(H1N1) 2例【1月以降の累積報告数 5例】
- ・ 二類: 結核 2例(肺結核 1例, 肺外結核 1例, 無症状病原体保有者 なし), (喀痰塗抹陽性 1例)
【1月以降の累積報告数 187例(肺結核 126例, 肺外結核 46例, 無症状病原体保有者 15例), (喀痰塗抹陽性 63例)】
- ・ 三類: 腸管出血性大腸菌感染症(O26 VT1 3例, O157 VT1VT2 1例) 4例【1月以降の累積報告数 20例】
- ・ 四類: レジオネラ症(肺炎型) 1例【1月以降の累積報告数 2例】
- ・ 五類: アメーバ赤痢(腸管アメーバ症) 2例【1月以降の累積報告数 11例】
- ・ 五類: 風しん 1例【1月以降の累積報告数 1例】

定点報告の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点68, 小児科定点41, 眼科定点10, 基幹定点1)

定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ	インフルエンザ	0.13	9
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	4.49	184
	② 水痘	1.22	50
	③ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.10	45
	④ 突発性発しん	0.37	15
	⑤ 手足口病	0.24	10
眼科	流行性角結膜炎	0.40	4

病原体情報

ありません。

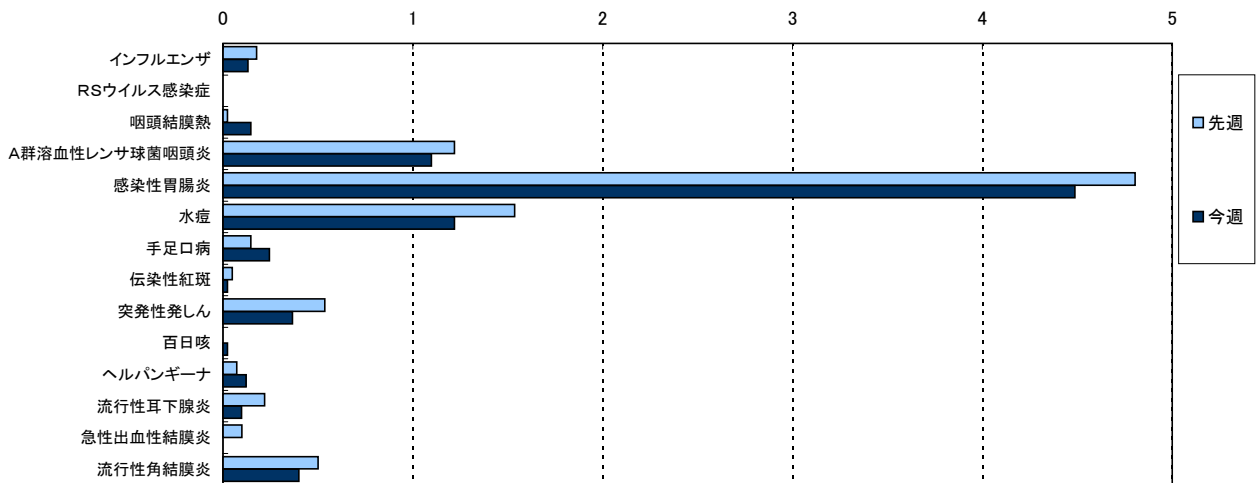
【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス: <後天性免疫不全症候群>

(注) 京都市のデータは、平成21年6月18日現在の報告数で、全国の還元データと若干異なる場合があります。また、本情報での患者数は、届出医療機関所在の保健所での集計で、患者の住所を示すものではありません。病原体情報は、病原体定点等から京都市衛生公害研究所へ搬入された検体から検出された病原体です。

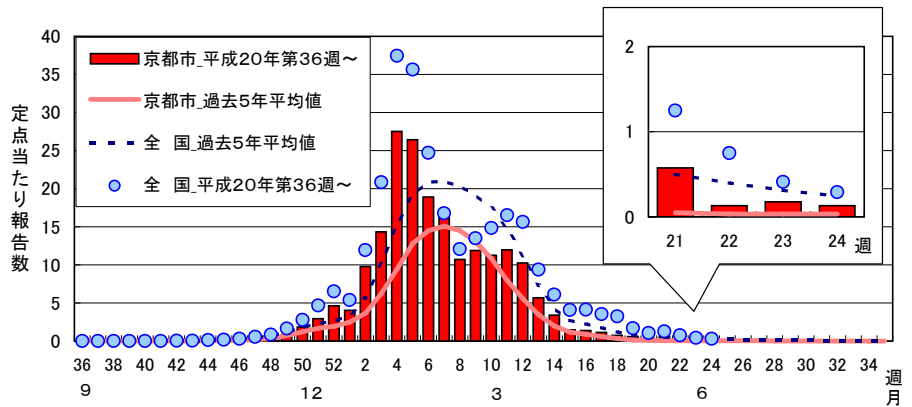
◆ 発生状況の概況グラフ

1 今週(第24週)と先週(第23週)の定点当たり報告数の比較



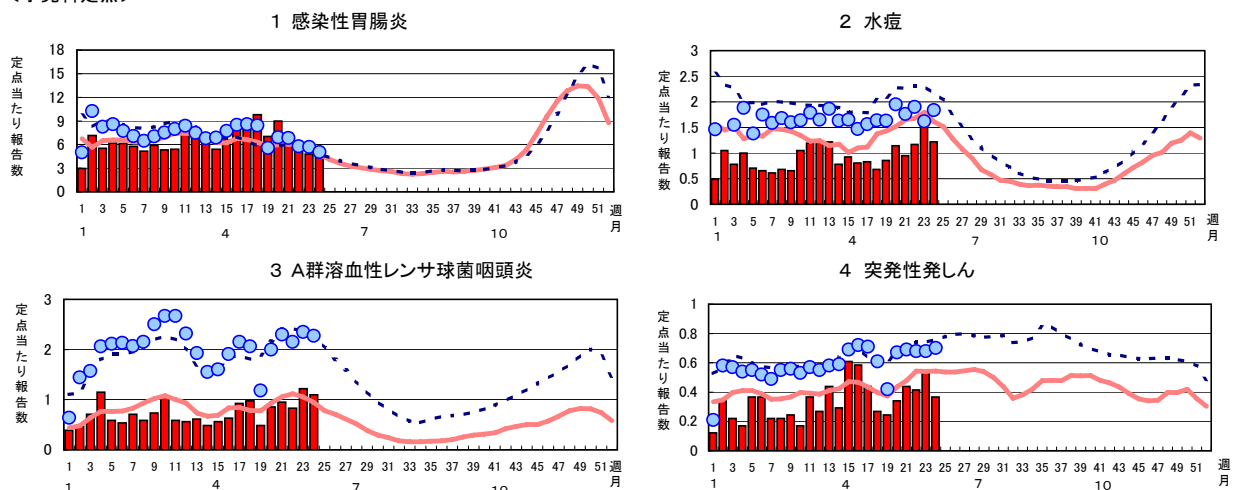
2 インフルエンザの推移

週	報告数(例)
第20週	27
第21週	39
第22週	9
第23週	12
第24週	9
累積報告数 (第36週以降)	13624

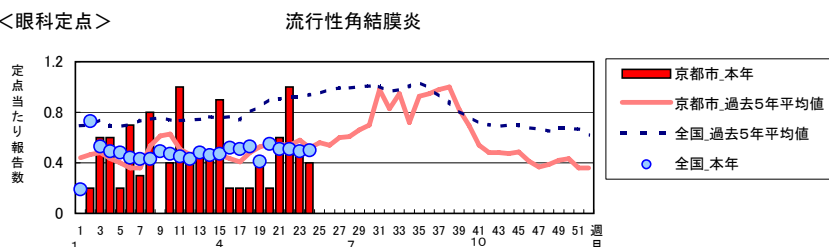


3 主な感染症(小児科)の定点当たり報告数の推移

<小児科定点>



<眼科定点>



今週(第24週)のトピックス: <後天性免疫不全症候群>

平成21年1月から3月までの報告数は3例で、エイズ患者1例、HIV感染者2例です。すべて男性で、年齢階級別では、エイズ患者は70歳代、HIV感染者は20歳代及び30歳代です。推定感染経路は、すべて性行為感染(同性間)で、推定感染地域は、すべて国内です。

平成11年以降、推定感染経路については、性行為感染が108例で最も多く、後天性免疫不全症候群全体(138例)の78.3%を占めています。

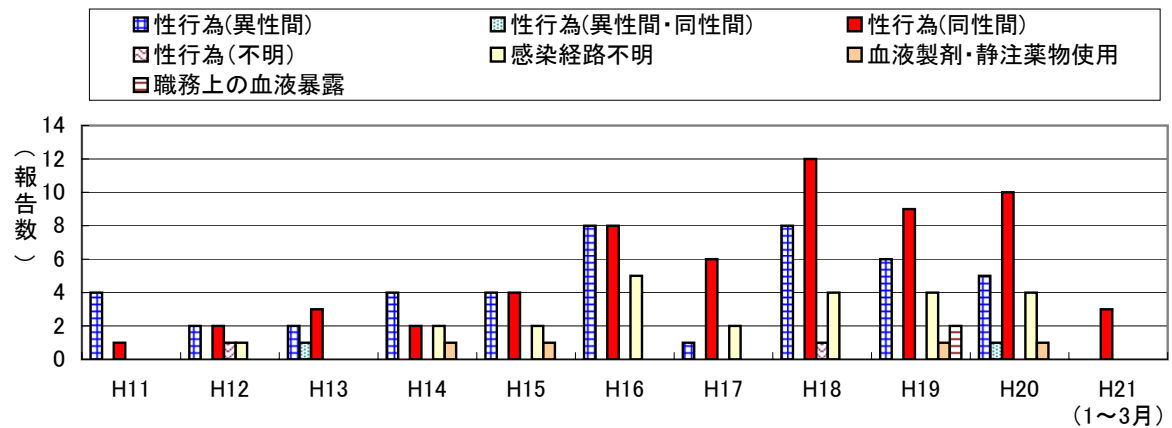
年齢階級別では、平成11年以降、初めての70歳代の報告です。平成16年、平成20年に各1例、60歳代の報告がありますが、エイズ患者がアメリカで1981年に発見されてから、約30年経っており、今後も高齢者の報告が増える可能性があります。

年次別報告数の推移

報告年	エイズ患者		HIV感染者		計
平成11年	2	(0)	3	(0)	5
平成12年	3	(1)	3	(0)	6
平成13年	2	(1)	4	(3)	6
平成14年	4	(3)	5	(1)	9
平成15年	2	(1)	9	(2)	11
平成16年	2	(0)	19	(3)	21
平成17年	3	(1)	6	(1)	9
平成18年	8	(3)	17	(2)	25
平成19年	7	(3)	15	(3)	22
平成20年	6	(0)	15	(6)	21
平成21年 (1~3月)	1	(1)	2	(2)	3
報告数合計	40	(13)	98	(23)	138

()内: 1月~3月の報告数

推定感染経路別 年次別報告数



年次別 年齢階級別報告数

